



渚滑っ子

教育目標：人間性豊かな児童の育成

～自ら気づき、自ら考え、自ら行動する子～

令和6年1月25日発行

文責：校長 佐藤 進也

次年度に向けて（学校評価結果）

保護者のみなさまには12月に実施した後期学校評価アンケート提出に御協力いただき、ありがとうございました。学校の取組に向き合っていたいただいていることに対し、感謝の気持ちでいっぱいです。保護者のみなさまからいただいたアンケート結果及び子どもたちのアンケート、教職員の自己評価をもとに、学校としての考えを整理しました。詳細につきましては、本日お配りしました「令和5年度 学校評価について」をご一読ください。

子どもたちのアンケート（記述：「できるようになったことを教えてください。」）では、

- ・人（相手）の得意なこと、苦手なことを理解してできるだけわかりやすいように説明した。
- ・休み時間にいろいろな人と遊んでその人の上手なところを見つけることができた。
- ・前より相手の気持ちを考えて行動するようになった。

など、人との関わりの中で振り返る子が多くなりました。また、「漢字を書くときにできるだけ字をきれいに書くことを意識して書いたので、テストなどのときにきれいに書けるようになった（自己評価・自己調整）。」ことを、自分で意識し、目標を決めて取り組めたことを目指す子どもの姿と結び付けて振り返る姿（子ども自身が、「自己評価・自己調整」という言葉を活用しています。）も見られました。

保護者アンケート（記述：「お子さんの成長したところはどんなところですか。」）では、

- ・人前での発言や行動が増え、積極的なところが成長したように思います。
- ・自分で考える力がとても身に付きました。
- ・時間を効率的に使うことができるようになりました。
- ・目先のことではなく、その先を考えるようになりました。
- ・学校外、授業外での人との接し方・見方が変わってきたと思います。職場見学で体験、色々な聞いた話によって自分はこうなりたいと小さな目標を立てるようになりました。

など、今年度力を入れてきた「関わり合える子」の成果と読み取れる回答をいただきました。

保護者アンケート（記述：「次年度、子どもたちにどんな力が身に付いてほしいですか。」）では、

- ・お友達や周りの人への優しさや、自分自身も大切にできるよう、心の成長。
- ・あきらめないでチャレンジする力。
- ・子ども自身が自分と向き合い、自信をもって生活してほしい。
- ・何か問題が起きても、自分たちで解決する力。

など、相手を大切にすると同時に、自分自身への向き合い方にかかわる願いが読み取れました。

前期にいただいた保護者アンケート（記述）では、教職員の子どもの接し方、対応についてもプラスの評価をいただきました。励ましのお言葉を力に次年度に向けて邁進してまいります。

子どもたちの成長や想い、保護者のみなさまの想いや願いを踏まえながら、現在、次年度の目指す子どもの姿（キーワード）や身に付けさせたい力について検討しています。次号でお伝えする予定です。

「関わり合える子」を意識した教育活動

【「心配り」から学ぶ（大谷翔平選手からグローブの寄贈）】

冬休みに大谷翔平選手からグローブとメッセージが届きました。サイズの違う右利き用が2つと左利き用が1つ、合計3つのグローブをいただきました。グローブには大谷選手のサインも印字されています。右利きと左利きのことを考えた、細やかな心配りなど、大谷選手から多くのことを学ぶことができます。

大谷翔平選手から来たメッセージを紹介します。



ロサンゼルス・エンゼルス・オブ・アナハイムのメジャーリーガー。大谷翔平です。
この手紙は、このたび私が学校に通う子供たちが野球に興味を持ってもらうために立ち上げたプログラムをご紹介しますためのものです。
この3つの野球グローブは学校への寄付となります。
それ以上に私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。
このグローブを学校でお互いに共有し、野球を楽しんでもらうために、私からのこの個人的なメッセージを学校の生徒たちに伝えていただければ幸いです。
この機会にグローブの寄贈をさせていただけることに感謝いたします。

※標記等、原文のまま掲載しています。

【見通しをもち、自分たちで取り組む（6年生企画「2023年を締めくくる会」）】

12月21日（木）の4時間目に6年生が企画した「2023年を締めくくる会」を全校で行いました。国語の学習で「みんなで楽しく過ごすために」について話し合いをした結果この企画が誕生しました。内容は、「お絵かき伝言ゲーム」「フラフープくぐり」です。全校で楽しむためにはどのようなルールにするべきなのかりハースルを行ったり、限られた時間の中でスムーズに進行するにはどうすればよ



いのか考えたりするなど、自分たちで準備を進めてきました。見通しをもって作業するとはどういうことなのか学び、行動に移すことができるからこそ、「関わり合える子」の姿です。

学校だよりだけでは伝えきれない日常の教育活動の様子を学校HPで紹介していますので、ぜひご覧ください。



2月の主な行事予定

1日（木） 全校朝会
16日（金） 定例職員会議
26日（月） 評価事務日（4時間授業）
※1日、8日、15日は職員研修のため、5時間授業となります。

・下校時刻 13:55
・バス時刻 14:05

※ノーチャイムデーは下校時刻が変わりますので、学級通信で確認ください。